

2018 年度 第 2 回幹事会議事録

日時：2019年2月28日（木）

場所：JXホールディングス六本木クラブ

出席者（敬称略）：町田、永田、長谷川、松村、真壁、齋藤、恒川、岩田、安田、品田、
玉井、相澤、古川、攝津、志田、青木、腰高、荒木、松尾（19名）

【報告事項】

1. 現役報告（青木さん）

- ・秋連盟戦⇒2年連続上位（4チーム中4位） ※1位…立教、2位…青学、3位…日友
- ・森主将の牽引・指導力光った。新2・3年は各二桁人数在籍。
- ・今年卒業は「計3名（男性×1⇒院へ進学、女性×2⇒東京で就職）」

2. 就職活動支援／OB訪問状況について（青木さん）

- ・順次、OBを訪問予定。例年開催している就活レクチャーも実施予定。

3. ANW（齋藤さん）

- ・2019年度は、3月の「中四国」より開催スタート。
- ・委員長を池田さんから齋藤さんに交代へ。（総会承認事項）

4. SO（真壁さん）

- ・3月中旬にアブダビ世界大会開催。
ユニファイドのイベント、6月にゲーム実施。
- ・日本でのユニファイドプログラムとして、「拓殖大学バスケット部」「トヨタ自動車」「アースフレンズ東京Z」
との交流あり。
- ・高齢化が深刻。若手ボランティア&パートナーを募集中。

5. 年会費状況報告（荒木さん）

- ・2018年度実質的収納率⇒85.6%（2017年度86.6%）
- ・年会費請求対象OB数は、近年「376名程度」で推移。
- ・未収納者（79名）が例年より多い（2017年度74名、2016年度68名）が、引落し不能者に対する振り込みの督促を例年と比較し活発化させなかったことが主な要因。

6. 関東大学バスケットボール同好会連盟 設立50周年イベント関連（岩田さん）

- ・各大学1985年卒前後が実行委員の中心として動いた結果、「177名+α」が参加。
- ・記念誌を発行したが、6割以上が楽観関係者による広告掲載。
- ・記念誌印刷代を当初60万で見ていたが、岩田さんのお知り合いの方に安価で対応して頂き、その結果、約30万（当初予算の半分）で発行実現。
- ・全体会計として約44万の繰越金発生。対応について他大学とも協議が必要。
- ・前回の幹事会で、OB会計から20万円（①広告掲載10万円、②若手参加費補助10万円）の拠出を承認したが、②については不要となったため、①のみ10万円の支出で確定。

【審議事項】

1. 3月23日（土）総会 議事・式次第（腰高さん）⇒「承認」

- ・例年開催していた「OLD MAN' S UN 夕留」が2月閉店のため下記にて開催。
2019年3月23日（土） 12:00~15:00 @ 「OLD MAN' S UN 丸の内（八重洲）」

2. 2018年度決算案、2019年度予算案（荒木さん）⇒決算案承認、予算案は下記の諸点を条件に承認

- ・2018年度末にて繰越金が600万円を超える見込み。
事務局として繰越金をどうするか案はあるか？（岩田さん）
⇒特に案はない。「65周年で使用」や「年会費減」等、今後に向けて要検討。（腰高さん）
- ・「2019年度予算案」において、従来「事務局経費」の中に含めていた通信費等の実費を新設した「通信費・手数料等諸経費」へ移管。新たな「事務局経費」として、事務局会の活動資金（打合せ代等）として10万円計上。
- ・「2019年度予算案」において「現役補助」が増額（+5万円）。【金額増は承認、下記の対応要】
⇒1期／甲斐さんのアロマセラピー補助を根拠とする金額増。
⇒前回幹事会にて「商品の提供」は賛成できないという流れになったはず。
効果があるのであれば、現役が費用負担し購入すれば良いのでは。
⇒現役に頑張ってほしいと考えてボランティアしているので補助しても良いのでは。
⇒ボランティアではなく、「現役サポート」としての活動と考え、拠出は現役の判断で。
⇒そもそも、現役の活動に総額いくら掛かっていて、その内現役負担がどの程度か等内訳を知っておくべきではないか。
- ・プチロー大会、東京海上日動交流戦は近年実施が困難。
「先導者を誰にするのか」や「体育館が取れない時はOB会で確保に動けないか」等を検討する必要有り。
⇒先導者のいない「プチロー」は開催が困難であるため、予算から削る方向にて検討。
⇒類似した件で、楽籠大会も体育館の確保が困難で開催が出来ないという現況からすれば、OBと現役との交流を図るといふ点では、「飲み会」のみの開催でも良いのでは。
- ・「2019年度予算案」において、支出見込みが前年支出確定額を大きく上回る（約50万）予算組みは如何なものか。また2019年度・単年度で支出超過の予算案、というのも如何か。
⇒OB会は利潤を求める企業会計等とは違って、内容を説明すれば理解してもらえると判断。
また、ここ数年は常に単年度でも収入超過であり、支出項目によって人数の影響があつて金額の多寡がありえる。
しかしながら、総会ではしっかり説明するよう努めることとする。

3. 恒川副会長から

- ・実質、OB会は幹事会で運営している為、幹事会の活性化が必要。
しかしながら、出欠回答率も低く、特に30期（50歳）以降の出席率が悪い。
更に、出席者の顔触れはあまり変わらず、新しい意見が出てこない。
長年出席しない幹事には理由を聞き、交代させる等の対応が必要なのでは。
⇒平日出席が難しい世代の可能性も有るので、「土曜日開催」にしては。
または、開催日を固定させる。（例…2月最終週の木曜）
- ・幹事会でどのような内容の議論があつたか知らないOBが多い。
⇒議事録は毎回掲示板にアップしている。
今回は「各代幹事」に対し、同期に議事録閲覧を促すようなアナウンス依頼を行う予定。
⇒楽籠注目に情報を載せるのはどうか。
⇒幹事会は物事を発信する場であるべき。

4. 役員人事

- ・ ANW 委員長を池田さんから斎藤さんに交代へ。(総会承認事項)

5. 過去の文献、資料、モノについての集積・保存・アーカイブについて

＜時間の制約もあり、進め方の議論に及ばず、中間報告にとどまる＞

- ・ 楽籠注目…1～7号 ⇒ 搜索中
 - 8～41号 ⇒ 現物あり
 - 42～59号 ⇒ ベントんにデジタルデータあり、PDF に吸上げ済み
- ・ 様々なモノについての、保管場所等について要検討。
- ・ 最重要なのは、本件についての「推進役」が必要なことである。

以上